



ベルーフ 事務所通信

発行：〒 542-0081 大阪府中央区南船場 4丁目 1番 20号 税理士法人ベルーフ 06-6253-5885

今月のニュース：

銀行口座の残高不足にご注意ください。(振替納税をされる皆様へ)

平成 20年分の確定申告が3月 16日で終了しました。所得税および消費税を振替納税で納付される方は、それぞれ下記の日にて指定の銀行口座より納税額が引き落とされます。納付にあたり銀行口座の残高が不足することがないよう確認をお願いします。

振替納税による納付期日

所得税 平成 21年 4月 22日 (水)

消費税 平成 21年 4月 27日 (月)

ご自身の納税が振替納税が通常納税かわからない場合などは監査担当者もしくは当事務所までお気軽にお問い合わせください。

会計こぼなし「固定資産の在庫管理による節税の巻」 ：担当 田中 広大(たなか ひろと)

今回のテーマはズバリ固定資産管理です！
会社を営んでいる場合必ずといっていいくらいありますよね。
例えばモノを作るための機械、会社の備品、自動車だって固定資産の一つです。
例を上げるときがないくらい色々なものがあります。

「それがどう節税につながるんだろう？」

そんな声が聞こえてきそうです。
その方法は？

それはズバリ！既に使われていない固定資産を廃棄するんです！
「そんなの、使っていないものをとっくに捨ててます！」と言われるかもしれませんが、
そう！実際にはモノ自体は捨てているかもしれませんが！

しかし！実際にモノ自体は捨てているかもしれませんが、会社の決算書に載っただけのモノがあるかもしれないのです。
なんで捨てたモノが決算書に載ってるの？と思われた方もおられるかもしれません。

理由を説明します。
みなさんには毎月月末や決算月に商品や材料などついでに必ずといっていいほど棚卸をしていただいているかと思いますが、
この固定資産については種類や数を案外把握されていないものなのです。
ですので、どうしてもこのような現象が起こり得るのです。

もしこのようなモノがある場合、「固定資産除却損」として経費に計上することができますのでしっかり把握しておきましょう。
方法は簡単です！固定資産台帳を一度見直してみてください。そして台帳に載っている資産が本当にあるのかを確認してください。
ないモノがあれば、まさに今回のケースに該当し、それだけでいくら節税につながる場合があります！

えっ！これで終わり？と思われた方もおられるかもしれませんが、
在庫管理のようなもので節税とは少し違うような気をされたかもしれません。

そんな方にはこんな事もお話しします。実は、廃棄していない固定資産を、除却損として経費計上できるパターンがあります。
これを、「有姿除却」といいます。

ただし、この有姿除却についてはいくつかの条件を満たす必要があります。
以下の2ポイントです。(法人税基本通達 7-7-2)

その資産の使用をやめ、今後通常の方法により使用する可能性がないと認められること
特定の製品の生産のために使用されていたモノで、その製品の生産を中止したことにより将来使用される可能性がほとんどないと認められること

このような場合、経費にできる金額は以下の通りです。
「その資産の帳簿価額 - その資産の将来の処分時の見積額」

色々な方法があるものですね！
ただし、この有姿除却も、始めにお話した除却損計上のお話も、在庫管理ができて初めてできることですね。
ですので、しっかり固定資産の管理もしていきましょう。固定資産を売買したり、廃棄したときには監査担当者にも忘れずにお伝えください。

あっ！引き続き、棚卸資産の管理も忘れずをお願いしますっ！
以上、「固定資産の在庫管理による節税の巻」でした。

スタッフブログ「ほっと一息」：担当 桑原 真弓(くわはら まゆみ)

『旅行けば。。。』

こんにちは！
今月のブログは桑原が担当させていただきます。

3月に入り、日差しに春の訪れを感じる日も多くなりました。
先月のブログで松丸が「温泉 1000か所にチャレンジ！」宣言をしましたが、
私も暖かくなってくると「どこかに旅行したいなー。」という気持ちが強くなってきます。

ゴールデンウィークを利用して旅行の計画をたてている方もいるのではないのでしょうか？
最近では円高の影響で韓国をはじめ、近隣のアジア諸国などへの旅行を計画している方が多そうですね。

私も大学生のときから時間とお金が許す範囲で海外旅行をしてきました。中国(北京、西安)、アイルランド、イギリス、ポルトガルと振り返ってみるとあまり他の人が観光で行かないところばかり旅行先に選んでいました。

どの国も印象深かったのですが、特に思い出に残っているのは初めての海外一人旅を経験したボスニア・ヘルツェゴビナとクロアチアです。
ボスニアといえば民族紛争のあった国というイメージが強いですが、紛争時に攻撃にあった建物がそのまま残っていたり、街中に戦車があったりと、紛争の爪あとを見ることができました。
イスラム教徒も多く、モスクが街中にあったり、料理などもトルコ料理に近いものがありました。

日本からウィーンを経由してボスニアの首都のサラエヴォに入国しましたが、そこでさっそくトラブルが！
荷物の受取所で待っていても着替え等を入れたトランクが出てこない！！
どうやらウィーンで私を含め20名ほどの荷物載せるのを忘れていたようです。「どうしよう、どうしよう」とあわただしいと、周りの人は「またか、、、」という顔をして手馴れた様子でホテルに届ける手続きをしています。どうやらいつものことらしい。見よう見まねでホテルの住所を書いて窓口に出すと「明日ホテルに届けるから。」とのこと。

しかし、実際荷物が届いたのはそれから3日後でした。。

私の海外初一人旅行は洗面用具と着替えを買いながらスタートしました。

日本に帰るときにも、ザグレブの空港でチェックインを済ませて飛行機を待っていると、係員の方が来て「霧のため搭乗予定の飛行機が着陸できません。」とのアナウンスが。。
結局3時間後に出発する別の航空会社の便に変更して帰ってくる事が出来ましたが、飛行機系トラブルに見舞われた旅行でした。
でも、トラブルに会うたびに不思議と親切な人にもめぐり合うことができ、旅行を満喫することが出来ました。

調子に乗って「次は南米に行きたいなー。」と考えているこのごろです。

